

答辞

冬の寒さも和らぎ、春の到来を感じる今日、私達8回生は、並木中等教育学校を卒業します。本日は、感染症による制約のある中、私達のために、心温まる卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。卒業生一同、感謝の気持ちでいっぱいです。今振り返ってみると、6年間という、これまでの人生の3分の1を占める長い時間も、あっという間だったように思います。

希望にあふれて入学した1年次。並木中等の校是でもある「Be a top learner」。勉学に励むことは、入学前にある程度覚悟はしていましたが、授業のスピードが速くなるにつれて分からないことが増え、心が折れそうな時もありました。その中でも、励ましあえる友人ができ、難しい問いにも答えを出していくことができました。志の高い、切磋琢磨できる友人と出逢えたことは一生の宝物です。毎日俳句を作る年次主任の先生をはじめとする個性的な先生方にも支えられ、並木中等に入学してよかったと改めて思いました。

前期課程最高学年となり、責任を自覚した3年次。広島では、平和記念公園や原爆資料館を見学し、被爆した方から戦争の悲惨さや原子爆弾の恐ろしさについてお聴きし、二度と戦争をしてはならないという強い思いを抱きました。

高校生となり、新たな心構えを持った4年次。ニュージーランドでの語学研修では、帰りの飛行機が台風の影響で飛ばず、予定にはない特別な一夜を明かしました。あの日のことは、生涯決して忘れません。

5年次では、部活動や委員会でも重要な役割を果たすことが多くなり、それらを成し遂げてきた先輩方の偉大さを再確認しつつ、様々なイベントを成功させることができました。ベトナムへの修学旅行では、ドクさんから直接話を聴き、

それが3年次の研修旅行での経験や記憶と結びついて、平和の尊さをより実感しました。

そして、6年次。受験がありながらも、最後の思い出が作られる、そうなるはずの1年間。「今年の受験生はかわいそうだ」。そんな言葉を、時折耳にします。やさしさと思いやりにあふれた言葉だと思います。しかし、私達は年次集会で「皆さんはラッキーな学年です」と先生方に言われてきました。そう、私達はかわいそうではありません。自分たちが恵まれているということに気づくことができた学年でした。

確かに、様々な混乱はありました。予定されていた入試改革はほとんど行われず、社会情勢に振り回されそうな時もありました。高校生活最後のかえで祭、最後のWRも、中止になりました。学校も3か月間休校となりました。しかし、その間、私達は様々な人との絆を感じとることができました。先生方は、現場も混乱する中、即座に時間割を組んでオンライン授業を開始してくださいました。私達が家にいて仕事が増えたであろう両親は、それでも嫌な顔一つせず、私達を応援してくれました。先が見えない不安の中でも、SNSの利点をいかして、友人たちと励ましあうことができました。距離が近くても、遠くても、関係ない。そこにどんな障壁があっても問題にならない。そのような絆を、私達は知ることができたのです。実際、入試も多少の変更はあっても無事に行われており、できなかったWRも代替行事を企画し、実施できました。何より、どんな状況においても、多くの方の支えによって、学習する環境が保証されることを実感できました。

在校生の皆さん、皆さんと過ごした日々も私達にとってはかけがえのない思い出です。冒頭にも申し上げましたが、並木中等での6年間はあっという間です。在校生の皆さんには部活動や勉強など、並木中等での時間を大切に過ごしていただきたいのです。その中で皆さんは様々な困難にぶつかるかもしれませんが、しかし、皆さんは一人ではありません。保護者の方々や地域の方々、そして先生方や友人など、たくさんの方々が見守ってくださっています。これからもたくさんの人に応援していただけるような並木生であってほしいと思います。

これから私達は各々の夢へ向かって羽ばたいてゆきます。支えてくださった先生方や励ましあった友人たち、応援してくれた在校生の皆さんとの別れは、さみしく、涙がこぼれそうになります。また、これまで育ててくれた両親に対して、思春期の私達はなかなか素直になれず、私達のためを思ってかけてくれた言葉を、受け入れることができないときもありました。それでも、どんな時も私達を励まし、寄り添い、不安を和らげてくれる、その温かさに、いつも感謝しています。私達はだんだん自立していき、いつか親元を離れていきますが、それまでもう少し見守っていて下さい。

これまで私達は、たくさんの方々に支えられてきました。今後は、社会を支える側に立ち、それぞれの場所で、苦しいときもくじけずに、並木中等教育学校で得たものすべてを生かして、新しいステージで精進していこうと思います。

最後に、皆様のご多幸と並木中等教育学校のますますのご発展を心より祈念しまして、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

令和3年3月1日

茨城県立並木中等教育学校 卒業生代表